

## 事前評価個表

事業名	復旧治山(国有林)	事業計画期間	平成26年度～平成27年度(2年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	真谷地地区 (まやちちく) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 空知森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は夕張市南部に位置し、平成24年9月9日～10日にかけての集中豪雨により、溪岸が侵食され土石流となり下流に位置する夕張市市有林の水路工に甚大な被害を与えた箇所である。</p> <p>今後の降雨等により、同様の被害を与えないために溪間工により不安定土砂を安定させ、水土保持機能の向上を図るため計画したものである。</p> <p>・主な事業内容 溪間工1基、流路工124m、          ・主な保全対象 道道150m、公共施設1戸          ・総事業費 180,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	216,226千円	
	総費用(C)	171,963千円	
	分析結果(B/C)	1.26	
評価結果	<p>・必要性 侵食崩壊により発生した崩壊土砂は、依然として溪床内に不安定土砂が堆積しており、今後の降雨等により不安定土砂の流出や崩壊地の拡大の恐れがあることから、保安林機能の向上を図るため当該事業を実施する必要性が認められる。</p> <p>・有効性 当事業の実施により、崩壊地の拡大や溪床内に堆積する不安定土砂の流出が抑制され、直下の道道を保全することが出来ることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>・効率性 対策の計画にあたっては、溪床勾配、地形、地質などの状況を考慮し、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法が検討されており、費用以上の効果も期待出来ることから効率性が認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山(国有林)	事業計画期間	平成26年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	鴨居沢 (かもいざわ) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 空知森林管理署北空知支署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、平成25年8月の集中豪雨により上部の山腹斜面が崩壊し、土砂と立木が直下の畑及び町道に流出する被害が発生した箇所である。 山腹斜面は不安定な状態であり、今後の豪雨などにより山腹崩壊が拡大し、再度被害を与える可能性が高いことから、下流の畑と町道の保全を図るため計画した。</p> <p>・主な事業内容 山腹工0.65ha、 ・主な保全対象 畑4.00ha 町道200m ・総事業費 40,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	53,229千円	
	総費用(C)	38,460千円	
	分析結果(B/C)	1.38	
評価結果	<p>・必要性 今後の降雨等によって、崩壊地の拡大や山腹に堆積する不安定土砂の流出が発生し直下の畑や町道に被害を及ぼす恐れがあることから、当事業を実施する必要性が認められる。</p> <p>・有効性 当事業の実施により、崩壊地の拡大や山腹内に堆積する不安定土砂の流出が防止され、下流域の保全が図られることから、有効性が認められる。</p> <p>・効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山(国有林)	事業計画期間	平成26年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	深沢支流 (ふかざわしりゅう) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 胆振東部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は白老町北東部に位置し、支笏洞爺国立公園に指定されている。計画地周辺は年間降水量が2,200mmを超える道内有数の多雨地域であり、また、火山活動の影響を受けた地質構造は非常に脆弱であるため、山腹崩壊の進行とこれに起因する不安定土砂・岩塊が溪床内に厚く堆積している状況であり、今後の降雨等によりこれらが下流域へ流出し土砂災害を及ぼす恐れがある。</p> <p>このため、当該事業により山脚の固定と土砂流出の抑制を図り、下流の林道等の保全に資するため計画したものである。</p> <p>・主な事業内容 溪間工 1基          ・主な保全対象 林道40m          ・総事業費 20,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	82,007千円	
	総費用(C)	19,230千円	
	分析結果(B/C)	4.26	
評価結果	<p>・必要性 山腹崩壊により発生した崩壊土砂等は依然として溪床内に厚く堆積しており、今後の降雨等により不安定土砂の流出や崩壊地の拡大の恐れがあることから、山地災害防止、土砂流出防止の観点からみて、当該事業を実施する必要性が認められる。</p> <p>・有効性 当該事業の実施により、土砂流出の抑制が図られ、林道を保全することが出来ることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>・効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山(国有林)	事業計画期間	平成26年度～平成29年度(4年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	水源の沢 (すいげんのさわ) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 日高北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該地区は平取町東部に位置し、平成18年8月の集中豪雨(267mm/日)により新たに山腹崩壊と溪岸侵食が発生した。          当流域は平成18年の集中豪雨及び平成15年の台風10号で下流の水道施設に土砂を流出し断水する被害を与えており、水道管理者から事業実施の要望が出されている。          このため、当該事業により土砂流出を抑制し、下流域の保全と保安林機能の維持、向上を図るため計画したものである。</p> <p>・主な事業内容 溪間工 8基          ・主な保全対象 水道施設、水道施設管理用道500m          ・総事業費 194,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	243,658千円	
	総費用(C)	175,299千円	
	分析結果(B/C)	1.39	
評価結果	<p>・必要性 平成18年の集中豪雨及び平成15年の台風により発生した山腹崩壊により溪床内に堆積している土砂は、今後の降雨等により流出し下流域に被害を及ぼす恐れがあることから、山地災害防止、水源の涵養等の観点から見て、当該事業を実施する必要性が認められる。</p> <p>・有効性 当該事業の実施により、下流域への土砂流出の抑制が図られ、水土保全機能が維持、向上されることから有効性が認められる。</p> <p>・効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山(国有林)	事業計画期間	平成26年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	佐々木地先の沢 (ささきちさきのさわ) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 日高南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該地区は沙流郡日高町の厚別川支流里平川の右岸部に位置し、当該下流域には町道や採草地がある箇所である。</p> <p>平成15年の台風10号による豪雨災害で、平成16年度に谷止工を2基施工したが、上流域には流出土砂の発生源である溪岸崩壊地が多数存在し、降雨の度に土砂を流出させ、溪床内には不安定土砂が堆積している。このまま放置した場合、溪岸崩壊地の拡大を招き、下流域へ大量の土砂を流出させる恐れがある。</p> <p>このため、溪間工により不安定土砂を安定させ、山腹工により新たな土砂流出を抑制し、水土保持機能の向上を図るため計画したものである。</p> <p>・主な事業内容 溪間工2基、山腹工 0.33ha          ・主な保全対象 採草地2.02ha          ・総事業費 85,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	190,992千円	
	総費用(C)	81,728千円	
	分析結果(B/C)	2.34	
評価結果	<p>・必要性 崩壊地や溪床内に堆積している不安定土砂の状況から、放置すれば豪雨等の際に崩壊地の拡大を招き、下流域に大量の土砂を流出させる恐れがあるため、水土保持機能の維持・向上の観点から、当該事業を実施する必要性が認められる。</p> <p>・有効性 当該事業の実施により、崩壊地の拡大や不安定土砂の流出が抑制され、下流域の保全が図られることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>・効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的、かつ効率的な工種・工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山(国有林)	事業計画期間	平成26年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	小川地区 (こがわちく) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 留萌南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は苫前町東部に位置し、毎年、融雪時に土砂を流出し、直下の町道及び河川に被害を与えている。</p> <p>保全対象の町道は、奥地の民家及び耕作地に通じる唯一の生活道路である。このまま放置した場合、融雪及び豪雨等により溪岸侵食が進行し、流出した土砂が直下の町道に多大な被害を及ぼす恐れがある。</p> <p>このため、当該事業により溪岸侵食の拡大及び土砂流出を防止し、下流の町道及び河川の保全を図るため計画するものである。</p> <p>・主な事業内容 溪間工 2基          ・主な保全対象 町道 50m          ・総事業費 40,000千円</p>		
費用対効果分析	総 便 益 (B)	69,882千円	
	総 費 用 (C)	38,460千円	
	分析結果 (B/C)	1.82	
評価結果	<p>・必要性 今後の融雪・豪雨時による町道への被害を防止し、溪床の固定と溪岸の安定を図り、土砂流出防止、水源かん養の維持・向上等の観点からみて、当該事業を実施する必要性が認められる。</p> <p>・有効性 当該事業の実施により、不安定土砂の流出が抑制され、下流域を保全することが出来ることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>・効率性 当該事業の計画に当たっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山(国有林)	事業計画期間	平成26年～27度(2年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	コッチラホチナイ沢 (こっちらほちないさわ) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 上川北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、平成22年以降の集中豪雨等により、上流の所々に山腹崩壊が発生していることから、今後、集中豪雨等による土砂流出により町道、橋、畑地への被害の恐れがある箇所である。</p> <p>このため、溪間工により、山脚を固定し堆積土砂の移動防止を図り、下流域の町道や橋や畑地等の保全を図るために計画したものである。</p> <p>・主な事業内容 溪間工 2基          ・主な保全対象 町道200m、農道400m、橋梁、農地28ha          ・総事業費 74,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	200,807千円	
	総費用(C)	69,380千円	
	分析結果(B/C)	2.89	
評価結果	<p>・必要性 今後の豪雨等により土砂が流出し、下流域に被害を及ぼす恐れがあることから、当事業を実施する必要性は認められる。</p> <p>・有効性 当該事業の実施により、下流域への土砂流出の抑制が図られ、水土保全機能が維持、向上されることから有効性は認められる。</p> <p>・効率性 対策の計画に当たっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山(国有林)	事業計画期間	平成26年度～30年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	大空沢地区 (おおからさわちく) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 宗谷森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該地区は、利尻島南部に位置し、過去の土石流の繰り返しによる扇状地が形成され、渓床内には大量の不安定土砂が堆積している。平成11年・18年の集中豪雨により流水の氾濫により発生した土石流が森林地帯や下流の沿海漁業等に被害を与えている。このため、不安定土砂の流出防止、山脚の固定及び渓床の浸食防止を図り、下流域の保全及び保安林機能の増進を目的に本事業を実施する。</p> <p>・主な事業内容 溪間工 25基          ・主な保全対象 家屋10戸、道道700m、取水施設、漁場          ・総事業費 687,300千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	792,466千円	
	総費用(C)	602,389千円	
	分析結果(B/C)	1.32	
評価結果	<p>・必要性 渓床には不安定土砂が多量にあり、渓床と森林地帯に比高がなく土石流が発生し森林被害を与えている。また、下流域の人家・魚場等の保全及び保安林機能の増進を地元からも強い要望となっていることから、当該事業を実施する必要性が認められる。</p> <p>・有効性 当該事業の実施により、不安定土砂の流出を防止、山脚の固定及び渓床の侵食を防止することで渓床に堆積する土砂が安定することから下流域の保全等が図られ、事業の有効性が認められる。</p> <p>・効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山(国有林)	事業計画期間	平成26年度～平成27年度(2年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	パンケ地区 (ばんけちく) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 上川南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は空知郡南富良野町西部に位置し、直下には上川管内と日高管内を結ぶ主要国道237号が通っており、橋梁が架かっている。</p> <p>平成24年度の集中豪雨により、山腹崩壊が発生し、その崩壊した土砂がパンケアラヤ川に流出し、一部は未だ崩壊地内に不安定に堆積している。</p> <p>このまま放置すれば今後の豪雨等により不安定土砂が流出し、国道の橋梁に被害を与える恐れがあることから、不安定土砂流出の抑止と法面侵食防止のため、当事業の実施を計画したものである。</p> <p>・主な事業内容 山腹工 0.37ha          ・主な保全対象 国道25m 橋梁          ・総事業費 55,000千円</p>		
費用対効果分析	総 便 益 (B)	61,829千円	
	総 費 用 (C)	52,145千円	
	分析結果 (B/C)	1.19	
評価結果	<p>・必要性 現状を放置すれば、下流域の保全対象に被害を及ぼすおそれがあることから、当事業を実施する必要性が認められる。</p> <p>・有効性 当事業の実施により、不安定土砂流出が抑止されるとともに、法面侵食防止が図られることから、当事業の有効性が認められる。</p> <p>・効率性 対策の計画に当たっては、現地の実態に即した最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山(国有林)	事業計画期間	平成26年度～平成27年度(2年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	ポン双珠別 (ぼんそうしゅべつ) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 上川南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は勇払郡占冠村南部に位置し、ポン双珠別林道が沢に平行した形で設置されている。地質は脆弱で融雪及び豪雨時の出水により溪岸及び溪床が侵食され、溪床内には不安定土砂が堆積している状況にある。</p> <p>このまま放置すれば今後の豪雨等により不安定土砂が流出し、下流域に被害を与える恐れがあることから、不安定土砂流出の抑止と溪岸・溪床の侵食防止のため、当事業の実施を計画したものである。</p> <p>・主な事業内容 溪間工 6基          ・主な保全対象 林道330m          ・総事業費 6,500千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	80,234千円	
	総費用(C)	61,206千円	
	分析結果(B/C)	1.31	
評価結果	<p>・必要性 現状を放置すれば、下流域の保全対象に被害を及ぼすおそれがあることから、当事業を実施する必要性が認められる。</p> <p>・有効性 当事業の実施により、不安定土砂流出が抑止されるとともに、溪岸侵食の防止が図られることから、当事業の有効性が認められる。</p> <p>・効率性 対策の計画に当たっては、現地の実態に即した最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山(国有林)	事業計画期間	平成26年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	上十一点沢 (かみじゅてんさわ) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 網走西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は遠軽町東部に位置し、平成24年8月の豪雨により新たに山腹崩壊が発生し、民地境界直近まで崩壊土砂が流出する等の被害が発生した。 山腹面には依然として倒木を含む不安定土砂が堆積している状況であり、今後の降雨により、崩壊地の拡大及び不安定土砂の流出により下流の農地・道々へ被害を及ぼす恐れがある。 このため、当該事業により崩壊地の拡大及び土砂流出を抑制し、下流の民地等の保全を図るため計画したものである。</p> <p>・主な事業内容 山腹工 0.24ha ・主な保全対象 農地1.80ha 道道50m ・総事業費 7,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	76,130千円	
	総費用(C)	6,731千円	
	分析結果(B/C)	11.31	
評価結果	<p>・必要性 山腹崩壊により発生した崩壊土砂は依然として山腹面に倒木を含む不安定土砂が堆積しており、今後の降雨等により不安定土砂の流出や崩壊地の拡大の恐れがあることから、山地災害防止、土砂流出防止の観点から見て、当該事業を実施する必要性が認められる。</p> <p>・有効性 当該事業の実施により、土砂流出の抑制が図られ、農地・道道を保全することができることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>・効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山(国有林)	事業計画期間	平成26年度～平成27年度(2年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	滝上本流 (たきのうえほんりゅう) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 網走西部森林管理署西紋別支署
事業の概要・目的	<p>当該地区は紋別郡滝上町から南西方向約30kmに位置し、平成22年9月の集中豪雨により土砂が流出し、渓床内に不安定な状態で多量に堆積している。 このため、今後の融雪や豪雨時に下流にある国道273号や民有地に被害を与える恐れがあることから、これらの保全を図るため計画したものである。</p> <p>・主な事業内容 溪間工 2基 ・主な保全対象 国道100m ・総事業費 100,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	259,535千円	
	総費用(C)	93,936千円	
	分析結果(B/C)	2.76	
評価結果	<p>・必要性 流出土砂が渓床内に不安定な状態で多量に堆積しており、今後の豪雨等の際に下流の保全対象へ被害を与える恐れがあることから当事業を実施する必要性が認められる。</p> <p>・有効性 当事業の実施により、不安定土砂の移動防止を図ることが出来ることから有効性が認められる。</p> <p>・効率性 事業の計画については、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法を検討しており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山(国有林)	事業計画期間	平成26年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	1377林班その1 (1377りんばんその1) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 網走南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は斜里町北東部に位置している。平成24年5月の豪雨により落石が発生し、建造物への被害はなかったものの、斜面上部には岩石風化による不安定な状態の浮き石が多数存在し、今後の豪雨等による更なる落石等の発生が懸念される箇所である。斜面直下には民家、倉庫等が位置しており、落石等が建造物を直撃する恐れがあり、建造物を挟み町道も位置しているため、早急な落石等の対策工を計画する。</p> <p>・主な事業内容 山腹工0.06ha  ・主な保全対象 家屋3戸、倉庫2棟、町道200m  ・総事業費 25,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	106,032千円	
	総費用(C)	24,038千円	
	分析結果(B/C)	4.41	
評価結果	<p>・必要性 斜面上部には岩石風化による不安定な状態の浮き石が多数存在し、今後の豪雨等による更なる落石等の発生により直下に存在する民家や町道に被害を与える恐れがあることから、山地災害防止、土砂崩壊防備等の観点からみて、当該事業を実施する必要性が認められる。</p> <p>・有効性 当該事業の実施により、斜面直下に位置する保全対象への落石等の抑制が図られることから有効性が認められる。</p> <p>・効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山(国有林)	事業計画期間	平成26年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	1377林班その2 (1377りんばんその2) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 網走南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は斜里町北東部に位置している。平成25年4月の豪雨により落石があり、民家までは到達しなかったが、上部斜面には崩落の恐れのある岩塊や浮き石等が点在している。今後の豪雨や融雪により、斜面上部にある岩塊等が剥離し斜面下にある民家等に被害を与える恐れがあるため、早急な落石等の対策工を計画する。</p> <p>・主な事業内容 山腹工0.15ha          ・主な保全対象 家屋1戸、町道100m          ・総事業費 12,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	40,686千円	
	総費用(C)	11,538千円	
	分析結果(B/C)	3.53	
評価結果	<p>・必要性 斜面上部には崩落の恐れのある岩塊や浮き石等が点在している。今後の豪雨等による更なる落石等の発生により直下に存在する民家や町道に被害を与える恐れがあることから、山地災害防止、土砂崩壊防備等の観点からみて、当該事業を実施する必要性が認められる。</p> <p>・有効性 当該事業の実施により、斜面直下に位置する保全対象への落石等の抑制が図られることから、有効性が認められる。</p> <p>・効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山(国有林)	事業計画期間	平成26年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	峰浜地区(B-C山腹) (みねはまちく) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 網走南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は斜里町北東部に位置し、平成25年4月の豪雨により山腹崩壊が発生し、観光地「オシンコシンの滝」の駐車場を流出土砂等により埋没させる被害を与えた。平成25年度より災害関連緊急事業として対策工を実行しているが、不安定な山腹斜面が残されており、今後の降雨等により、山腹直下に位置する保全対象である国道等に多大な被害を与える恐れがあることから、対策工を計画する。</p> <p>・主な事業内容 山腹工0.16ha          ・主な保全対象 国道100m・駐車場          ・総事業費 70,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	231,955千円	
	総費用(C)	67,306千円	
	分析結果(B/C)	3.45	
評価結果	<p>・必要性 今後の降雨等によりさらなる崩壊が発生し、直下に位置する国道等に被害を及ぼす恐れがあることから、山地災害防止、土砂崩壊防備等の観点からみて、当該事業を実施する必要性が認められる。</p> <p>・有効性 当該事業の実施により、不安定な山腹斜面の崩壊が抑止され、直下国道等の保全が図られることから有効性が認められる。</p> <p>・効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山(国有林)	事業計画期間	平成26年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	峰浜地区 (みねはまちく) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 網走南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は斜里町北東部に位置し、平成25年4月の豪雨により山腹崩壊が発生し、観光地「オシンコシンの滝」の駐車場を流出土砂等により埋没させる被害を与えた。平成25年度より災害関連緊急事業として対策工を実行しているが、山腹上部に発生した亀裂が徐々に拡大するなど不安定な箇所が残されており、今後の降雨等により、山腹直下に位置する保全対象である売店、国道等に多大な被害を与える恐れがあることから、対策工を計画する。</p> <p>・主な事業内容 山腹工 0.30ha          ・主な保全対象 国道100m・売店、駐車場          ・総事業費 130,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	257,399千円	
	総費用(C)	124,996千円	
	分析結果(B/C)	2.06	
評価結果	<p>・必要性 今後の降雨等によりさらなる崩壊が発生し、直下に位置する売店や国道等に被害を及ぼす恐れがあることから、山地災害防止、土砂崩壊防備等の観点からみて、当該事業を実施する必要性が認められる。</p> <p>・有効性 当該事業の実施により、不安定な山腹斜面の崩壊が抑止され、直下の売店、国道等の保全が図られることから有効性が認められる。</p> <p>・効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山(国有林)	事業計画期間	平成26年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	浦雲泊地区 (ぼんとまりちく) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 根釧西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該地は釧路郡釧路町東部に位置し、平成25年9月の台風及びその後の降雨を起因とした山腹崩壊が発生し、下流に位置する浦雲泊地区取水施設に土砂が流出した。</p> <p>今後の降雨等により山腹崩壊面の拡大及び泥土流下による生活用水の汚濁発生が懸念されることから山腹工を施工し、土砂流出の防止及び早期森林への復元による浦雲泊地区の民生安定を図るため当該事業を計画した。</p> <p>・主な事業内容 山腹工 0.03ha          ・主な保全対象 取水施設          ・総事業費 13,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	26,897千円	
	総費用(C)	12,500千円	
	分析結果(B/C)	2.15	
評価結果	<p>・必要性 今後の降雨等により山腹崩壊の拡大及び泥土流下による汚濁水発生の恐れがあることから、山地災害防止、土砂流出の防止の観点からみて、当該事業を実施する必要性が認められる。</p> <p>・有効性 当該事業の実施により土砂流出の防止が図られ、取水施設の保全がされることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>・効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山(国有林)	事業計画期間	平成26年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	芽登温泉裏 (めとうおんせんうら) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 十勝東部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は足寄町西部に位置し、風化によって崩落の恐れのある浮き石が点在しており落石が発生してきた。 山腹には依然として浮き石が多数みられ、今後の降雨・融雪による落石により山腹直下の温泉施設や民家に被害を及ぼす恐れがある。 このため当事業により落石を抑制し山腹直下の温泉施設や民家の保全を図るため計画したものである。</p> <p>・主な事業内容 山腹工0.60ha ・主な保全対象 温泉施設、家屋1戸 ・総事業費 20,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	55,423千円	
	総費用(C)	19,230千円	
	分析結果(B/C)	2.88	
評価結果	<p>・必要性 依然として浮き石が多数みられ、今後の降雨・融雪による落石の恐れがあることから、山地災害防止、土砂流出防止の観点からみて、当該事業を実施する必要性が認められる。</p> <p>・有効性 当該事業の実施により、落石の抑制が図られ、温泉施設や民家を保全することが出来ることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>・効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山(国有林)	事業計画期間	平成26年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	ウシュナイ沢川 (うしゅないさわがわ) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 十勝西部森林管理署 東大雪支署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、新得町の北部に位置し大雪山国立公園内に存在する。平成24年9月の豪雨により、国有林直下流の民有林及び道道に土砂が流出し、被害を出した箇所である。道道は、トムラウシ温泉や集落への唯一のアクセス路であり、重要な施設である。</p> <p>既設ダムは満砂状態にあり、現在も、溪床に多くの不安定土砂が堆積しており今後の降雨等により、土砂が流出し下流の保全対象に被害を与える恐れが高いことから、当該事業により溪床の安定を図り、下流の保全と保安林機能の維持、向上を図るため計画したものである。</p> <p>なお、国有林治山と民有林治山と連携し一体となって、流域の保全を図る計画となっている。</p> <p>・主な事業内容 溪間工1基、流路工70m          ・主な保全対象 道道100m          ・総事業費 20,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	101,671千円	
	総費用(C)	19,230千円	
	分析結果(B/C)	5.29	
評価結果	<p>・必要性 平成24年9月の豪雨により、溪床内に堆積していた土砂が流出し、民有林及び道道に被害を出した。今後の豪雨等により下流の保全対象に被害を及ぼす恐れがある。また、道道は唯一のアクセス路であることから、当該事業を実施する必要性が認められる。</p> <p>・有効性 当該事業の実施により、下流域への土砂流出の抑制が図られるとともに溪床・溪岸が安定し、森林整備促進が図られ、水土保持機能が維持、向上されることから有効性が認められる。</p> <p>・効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山(国有林)	事業計画期間	平成26年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	神恵内(能登宅裏) (かもえない(のとたくうら)) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 後志森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、神恵内村市街地の道道沿いに面しており、既設落石防止柵工(S55)が作設されているが、腐朽が著しく進行しており、山腹斜面には風化した基岩や剥離した浮き石・転石・倒木等があることから、地元市町村、住民からの要請が強いことから、地域の住民の安全・安心を図るため当事業を計画したものである。</p> <p>・主な事業内容 山腹工 0.41ha          ・主な保全対象 家屋6戸 道道120m          ・総事業費 60,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	238,700千円	
	総費用(C)	57,690千円	
	分析結果(B/C)	4.14	
評価結果	<p>・必要性 山腹斜面に不安定な状態で転石が点在しており、放置すれば直下の人家等に被害を与える恐れがあることから、下流域の保全・保安林機能の発揮のため当事業の必要性が認められる。</p> <p>・有効性 山腹斜面からの落石防止対策を実施することにより、下流域の保全等が図られることから事業の有効性が認められる。</p> <p>・効率性 当事業の計画に当たっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な工法で検討されており、費用以上の効果も期待出来ることから効率性は認められるものである。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山(国有林)	事業計画期間	平成26年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	豊浜地区(三上宅裏) (とよはまちく(みかみたくうら)) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 後志森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、島牧村豊浜地区の国道沿いの海岸段丘急傾斜地で、漁港、民家、国道が日本海と急傾斜の山腹面に挟まれた地域で、山腹斜面には風化した基岩や剥離した浮き石・転石が点在している。</p> <p>平成24年春に直下の畑に落石が滑落する災害があったことから、地域の住民の安全・安心を図るため当事業を計画したものである。</p> <p>・主な事業内容 山腹工 0.12ha          ・主な保全対象 家屋2戸 国道100m          ・総事業費 20,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	277,912千円	
	総費用(C)	19,230千円	
	分析結果(B/C)	14.45	
評価結果	<p>・必要性 山腹斜面に不安定な状態で転石が点在しており、放置すれば直下の人家等に被害を与える恐れがあることから、下流域の保全・保安林機能の発揮のため当事業の必要性が認められる。</p> <p>・有効性 山腹斜面からの落石防止対策を実施することにより、下流域の保全等が図られることから事業の有効性が認められる。</p> <p>・効率性 当事業の計画に当たっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な工法で検討されており、費用以上の効果も期待出来ることから効率性は認められるものである。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山(国有林)	事業計画期間	平成26年度～平成29年度(4年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	厚沢部地区 (あっさぶちく) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 檜山森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は平成25年8月の豪雨(89mm/時)により土石流が発生し、流木を含む土砂礫を下流に押し出した。これにより、直下を通る道道67号八雲厚沢部線は土砂礫や流木で埋塞されたうえ、路肩が決壊するなど、甚大な被害を与えた。溪流内には依然として倒木を含む不安定土砂が堆積している状況であり、今後の降雨により、崩壊地の拡大及び不安定土砂の流出により下流の道道へ被害を及ぼす恐れがある。</p> <p>このため、当該事業により崩壊地の拡大及び土砂流出を防止し、下流の道道等の保全を図るため計画したものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な事業内容 山腹工 0.10ha 溪間工 8基</li> <li>・ 主な保全対象 道道250m</li> <li>・ 総事業費 200,000千円</li> </ul>		
費用対効果分析	総便益(B)	204,202千円	
	総費用(C)	181,495千円	
	分析結果(B/C)	1.13	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性 山腹崩壊により発生した崩壊土砂は、依然として山腹面に倒木を含む不安定土砂が堆積しており、今後の降雨等により不安定土砂の流出や崩壊地の拡大の恐れがあることから、山地災害防止、土砂流出防止の観点からみて、当該事業を実施する必要性が認められる。</li> <li>・ 有効性 当該事業の実施により、土砂流出の抑制が図られ、道道を保全することが出来ることから、事業の有効性が認められる。</li> <li>・ 効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	水源地域整備(国有林)	事業計画期間	平成26年度～平成30年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	豊丘 (とよおか) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 石狩森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該地区の下流には豊丘浄水場及び余市ダムがある。豊丘浄水場は余市町生活用水の約20%をまかなっているが、原水は自然流下の表流水であるため、水質は水源森林の状況により大きく変わる。余市ダムは1987年にヌッチ川上流に設置された農業用ダムで、ヌッチ川流域農家の農業用水の水瓶として非常に重要であるが、近年、ダムには多くの土砂が流入しており湛水量は減少傾向である。また、隣接して斜面崩壊が発生し直接土砂の流入もみられる。</p> <p>以上のことから、溪間工によりダムへの流入土砂の抑止を図るとともに、溪床勾配を緩和して溪岸侵食等を防止する。直接土砂の流入が見られる崩壊地は山腹工により斜面の安定を図り、林地に復旧させる。未整備の人工林は密度調整を積極的に行う等、育成複層林への誘導を積極的に行う。これらにより流域全体の安定を図り、良質な生活用水を長期にわたり安定的に確保する。</p> <p>・主な事業内容 溪間工5基、山腹工0.26ha 植栽工3.00ha 本数調整伐135ha          ・主な保全対象 農業用ダム 林道60m          ・総事業費 260,337千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	583,072千円	
	総費用(C)	229,722千円	
	分析結果(B/C)	2.54	
評価結果	<p>・必要性 山腹崩壊が発生し近年多くの土砂が下流のダムへの流入が多く見られる。また、隣接して斜面崩壊が発生し直接土砂の流入があることから余市町から水源地域の森林整備を積極的に実施するよう強く要請されていることから、当該事業を実施する必要性が認められる。</p> <p>・有効性 当該事業の実施により、下流への土砂流出の防止が図られるとともに流域全体が安定し、良質な生活用水を長期にわたり安定的に確保できることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>・効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備(国有林)	事業計画期間	平成26年度～平成27年度(2年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	芦別地区 (あしべつちく) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 空知森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、空知川の流域で芦別市と赤平市に位置し、人工林が過密であることから生育が著しく阻害されている状態である。 今後、この人工林がさらに過密になると下層植生の生育を妨げ、降雨時に表土等の流出の恐れがあるため、早期に林内の照度を上げ下層植生の健全な生育を効果的に発揮させるため、当事業を計画したものである。</p> <p>・主な事業内容 本数調整伐 284.44ha つる切 70.68ha ・主な保全対象 ・総事業費 86,983千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	811,116千円	
	総費用(C)	82,642千円	
	分析結果(B/C)	9.81	
評価結果	<p>・必要性 このまま放置すると、人工林がさらに過密状態となり、立木や下層植生の生育に悪影響を及ぼし、保安林機能が低下することから、事業を実施する必要性が認められる。</p> <p>・有効性 当事業の実施により、林内照度が上がり立木や下層植生の生育が回復し、保安林機能の維持、向上が期待できることから有効性が認められる。</p> <p>・効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備(国有林)	事業計画期間	平成26年度～平成30年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	美唄地区 (びばいちく) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 空知森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、美唄市の耕作地帯に位置し、強風から農作物を守ることを目的に格子状に造成されている。</p> <p>林分状況は主にヤチダモ人工林で植栽後60年を経過しており、倒木や枯損木が発生し防風機能の低下が懸念されている状態にある。</p> <p>今後、この人工林の防風効果を維持していくためには、早期に人工林の適切な管理や整備が必要なことから、森林整備による保安林機能の強化を図るため、当事業を計画したものである。</p> <p>・主な事業内容 植栽工 6.00ha 下刈 42.00ha 本数調整伐 6.00ha          ・主な保全対象          ・総事業費 17,284千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	119,818千円	
	総費用(C)	16,237千円	
	分析結果(B/C)	7.38	
評価結果	<p>・必要性 防風保安林の機能低下により周辺地域への風害等が予想されることから、早期に事業着手する必要がある。</p> <p>・有効性 当事業の実施により、防風保安林の機能維持・向上が期待出来るため、有効性は認められる。</p> <p>・効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備(国有林)	事業計画期間	平成26年度～平成30年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	羽幌・築別地区 (はぼろ・ちくべつちく) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 留萌北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地方は留萌宗谷地方中部の羽幌町に位置しており、日本海に面した漁業・農業が盛んな地域である。当地区は北西からの強い季節風の影響をうけ未立木となっており、防風保安林としての機能を十分に発揮できない状況にある。周囲には国道・道道及び田畑等があり、現状のまま放置をすれば、周辺地域に影響を及ぼす恐れがあるため、早期に林地回復を図り、保安林機能を発揮させるものである。</p> <p>・主な事業内容 下刈2.80ha          ・主な保全対象          ・総事業費 640千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	10,275千円	
	総費用(C)	569千円	
	分析結果(B/C)	18.06	
評価結果	<p>・必要性 未立木地の放置が続けば、防風保安林機能の低下により周辺地域への風害等が予想されることから、早期に事業着手する必要がある。</p> <p>・有効性 当事業の実施により、林地への早期回復を図り、防風保安林機能の維持・向上が期待出来るため、有効性は認められる。</p> <p>・効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備(国有林)	事業計画期間	平成26年度～平成30年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	下沼地区 (しもぬまちく) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 留萌北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地方は宗谷地方北部の幌延町に位置しており、日本海に面した漁業・酪農が盛んな地域である。当地区は北西からの強い季節風の影響をうけ未立木となっており、防風保安林としての機能を十分に発揮できない状況にある。周囲には国道・道道及び牧草地等があり、現状のまま放置をすれば、周辺地域に影響を及ぼす恐れがあるため、早期に林地回復を図り、保安林機能を発揮させるものである。</p> <p>・主な事業内容 下刈24.54ha、補植4.08ha          ・主な保全対象          ・総事業費 6,862千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	76,000千円	
	総費用(C)	6,205千円	
	分析結果(B/C)	12.25	
評価結果	<p>・必要性 未立木地の放置が続けば、防風保安林機能の低下により周辺地域への風害等が予想されることから、早期に事業着手する必要がある。</p> <p>・有効性 当事業の実施により、林地への早期回復を図り、防風保安林機能の維持・向上が期待出来るため、有効性は認められる。</p> <p>・効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備(国有林)	事業計画期間	平成26年度～平成30年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	川口・更岸地区 (かわぐち・さらきしちく) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 留萌北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地方は留萌地方北部の天塩町に位置しており、日本海に面した漁業・酪農が盛んな地域である。当地区は北西からの強い季節風の影響をうけ未立木となっており、防風保安林としての機能を十分に発揮できない状況にある。周囲には国道・道道及び牧草地等があり、現状のまま放置をすれば、周辺地域に影響を及ぼす恐れがあるため、早期に林地回復を図り、保安林機能を発揮させるものである。</p> <p>・主な事業内容 下刈4.64ha、補植0.17ha          ・主な保全対象          ・総事業費 1,199千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	20,540千円	
	総費用(C)	1,076千円	
	分析結果(B/C)	19.09	
評価結果	<p>・必要性 未立木地の放置が続けば、防風保安林機能の低下により周辺地域への風害等が予想されることから、早期に事業着手する必要がある。</p> <p>・有効性 当事業の実施により、林地への早期回復を図り、防風保安林機能の維持・向上が期待出来るため、有効性は認められる。</p> <p>・効率性 当事業の計画にあたっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	防災林造成(国有林)	事業計画期間	平成26年度～30年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	上平・昭和地区 (うえひら・しょうわちく) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 留萌南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は苫前町の北部に位置し、海岸線までほど近く、防風保安林に指定されている。</p> <p>当地区周辺には、牧草地及び町道があり、治山事業として防風効果をより発揮させるため新植を計画する。また、植栽した箇所の根踏作業と下刈作業を実施し、保安林機能の向上させため計画する。</p> <p>・主な事業内容 植栽工1.00ha 下刈4.20ha 補植0.54ha          ・主な保全対象          ・総事業費 7,500千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	34,233千円	
	総費用(C)	6,678千円	
	分析結果(B/C)	5.13	
評価結果	<p>・必要性 防風保安林の機能の維持・向上のために早期に事業着手する必要がある。</p> <p>・有効性 当事業の実施により、植栽木の生長が促進され、防風保安林の機能維持・向上が期待出来るため、有効性は認められる。</p> <p>・効率性 当事業の計画に当たっては、現地実態に応じた効果的かつ効率的な施業で検討されており、費用以上の効果が期待出来ることから効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業計画期間	平成26～30年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	天塩岳・上土別・多寄地区 （てしおだけ・かみしべつ・たよろちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 上川北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は士別市南東部に位置しており、未立木地となっている箇所への植栽した箇所である。 今後、下刈り等保育事業を継続的に行われないとクマイ笹・大型草本類等に覆われ、植栽木の健全な成長が阻害されることから、早期に林地回復を図るため当事業を計画するものである。</p> <p>・主な事業内容 下刈193ha ・主な保全対象 ・総事業費 35,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	348,978千円	
	総費用（C）	31,163千円	
	分析結果（B/C）	11.20	
評価結果	<p>・必要性 未立木地の放置が続けば、保安林機能の維持、向上が図れないことから、当事業を実施する必要性が認められる。</p> <p>・有効性 当事業の実施により、林地への早期回復を図り、水源涵養及び防風保安林機能の維持・向上が期待出来るため、有効性は認められる。</p> <p>・効率性 当事業の計画に当たっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な施業で検討されており、費用以上の効果も期待出来ることから効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業計画期間	平成26～30年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	南丘地区 （みなみおかし） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 上川北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は和寒町西部にある中和貯水池・南丘貯水池の水源上流に位置しており、未立木地となっている箇所へ植栽した箇所である。今後、下刈り等保育事業を継続的に行われないとクマイ笹・大型草本類等に覆われ、植栽木の健全な成長が阻害されることから、早期に林地回復を図るため当事業を計画するものである。</p> <p>・主な事業内容 下刈376ha          ・主な保全対象          ・総事業費 37,500千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	328,492千円	
	総費用（C）	33,359千円	
	分析結果（B/C）	9.85	
評価結果	<p>・必要性 未立木地の放置が続けば、保安林機能の維持、向上が図れないことから、当事業を実施する必要性が認められる。</p> <p>・有効性 当事業の実施により、林地への早期回復を図り、保安林の機能維持・向上が期待出来るため、有効性は認められる。</p> <p>・効率性 当事業の計画に当たっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な事業で検討されており、費用以上の効果も期待出来ることから効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業計画期間	平成26～30年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	落合沢上流・東風連地区 <small>（おちあいざわじょうりゅう・ひがしふうれんちく）</small> （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 上川北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は名寄市南東及び下川町部南部に位置しており、風倒被害及び未立木地となっている箇所への植栽した箇所である。今後、下刈り等保育事業を継続的に行われないとクマイ笹・大型草本類等に覆われ、植栽木の健全な成長が阻害されることから、早期に林地回復を図るため当事業を計画するものである。</p> <p>・主な事業内容 下刈 59.00ha          ・主な保全対象          ・総事業費 15,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	81,178千円	
	総費用（C）	13,186千円	
	分析結果（B / C）	6.16	
評価結果	<p>・必要性 未立木地の放置が続けば、保安林機能の維持、向上が図れないことから、当事業を実施する必要性が認められる。</p> <p>・有効性 当事業の実施により、林地への早期回復を図られ、保安林機能の維持・向上が期待出来るため、有効性は認められる。</p> <p>・効率性 当事業の計画に当たっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な施業で検討されており、費用以上の効果も期待出来ることから効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	防災林造成(国有林)	事業計画期間	平成26年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	メークマ地区 (めくまちく) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 宗谷森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、日本最北の街、稚内市から東に約1.4km、宗谷湾に面する海岸線に沿った位置にあり、海側には国道238号線が走り、西隣接地には稚内空港があり、山側一体には酪農地が広がっている。現在では、トドマツ・アカエゾマツを主体に木本緑化され、住民の生活環境の改善や漁業・酪農の発展に大きく貢献している。</p> <p>造成された地区の植栽木は、既に40年以上経過し順調に成育している一方、厳しい気象条件と自然環境から植栽木を守るため密植により仕立てたため、樹枝が交錯し、そのため枝の枯れ上がりが進んでおり、保安林としての機能を維持・強化するため早期に林内の照度を上げ、下層植生の健全な育成を効果的に発揮させるために行うものである。</p> <p>・主な事業内容 本数調整伐 4.82ha、下刈 0.28ha          ・主な保全対象          ・総事業費 702千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	14,817千円	
	総費用(C)	675千円	
	分析結果(B/C)	21.95	
評価結果	<p>・必要性 放置が続けば、さらに林層が過密状態となり、下層植生に影響を及ぼし、保安林機能が低下することから、早期に事業着手する必要がある。</p> <p>・有効性 当事業の実施により、林内照度が上がり、下層植生等の発生・成育が回復し、林内の安定が図られ保安林機能の維持・向上が期待出来るため、有効性は認められる。</p> <p>・効率性 当事業の計画に当たっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な工法で検討されており、費用以上の効果も期待出来ることから効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	防災林造成(国有林)	事業計画期間	平成26年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	猿払地区 (さるふつちく) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 宗谷森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は猿払村に位置しており、オホーツク海に面した漁業・酪農が盛んな地域である。</p> <p>当地区は海岸線に近く、海側より強い季節風と潮による影響をうけ未立木地となっており、防風保安林としての機能を十分に発揮できない状況にある。保安林の背後には酪農地が広がっており、現状のまま放置をすれば、周辺地域に影響を及ぼす恐れがあるため、早期に林地回復を図り、保安林機能を発揮させるものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な事業内容 植栽工1.12ha、防風工 715.75m、下刈12.08ha</li> <li>・主な保全対象</li> <li>・総事業費 10,355千円</li> </ul>		
費用対効果分析	総便益(B)	23,528千円	
	総費用(C)	9,956千円	
	分析結果(B/C)	2.36	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性 未立木地の放置が続けば、保安林の機能低下により周辺地域への風害等が予想されることから、早期に事業着手する必要がある。</li> <li>・有効性 当事業の実施により、林地への早期回復を図り、保安林の機能維持・向上が期待出来るため、有効性は認められる。</li> <li>・効率性 当事業の計画に当たっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な工法で検討されており、費用以上の効果も期待出来ることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	防災林造成(国有林)	事業計画期間	平成26年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	枝幸地区 (えさしちく) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 宗谷森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は枝幸町から、およそ10km南に位置し、海岸線まで近く、防風保安林に指定されている。</p> <p>当地区の背後には牧草地、海側に国道238号線が走り、治山事業による植栽工を実施してきており、残る未立木地の解消を図り、森林造成を実施して保安林としての機能強化を図るものである。</p> <p>また、昭和40年代に植栽した造林地については、植栽木が過密化しており、早期に林内照度を上げ、下層植生の健全な生育を発揮させるため、本数調整伐を行うものである。</p> <p>・主な事業内容 植栽工 5.06ha、下刈 21.31ha、本数調整伐2.14ha          ・主な保全対象          ・総事業費 13,061千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	59,280千円	
	総費用(C)	12,558千円	
	分析結果(B/C)	4.72	
評価結果	<p>・必要性 未立木地の放置が続けば、保安林の機能低下により周辺地域への風害等が予想されること、更に林層が過密状態となり植栽木や下層植生に多大な影響を及ぼし、保安林機能が低下する恐れがあることから、早期に事業着手する必要がある。</p> <p>・有効性 当事業の実施により、林地への早期回復を図り、下層植生等の生育が回復し、林地の安定が図られ保安林の機能維持・向上が期待出来るため、有効性は認められる。</p> <p>・効率性 当事業の計画に当たっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な工法で検討されており、費用以上の効果も期待出来ることから効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備(国有林)	事業計画期間	平成26年度～平成30年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	緑地区 (みどりちく) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 宗谷森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は北海道の最北端にある稚内市の市街地に隣接しており、稚内風景林、干害防備保安林、保健保安林、鳥獣保護区に指定され、市民の散策路など「憩いの場」として利用されている。</p> <p>地区の海岸線沿いは、明治末期から大正初期にかけて何度も山火事に見舞われており、その跡地にはチシマザサの繁茂が著しく、森林帯は溪流斜面の比較的風当たりの弱い部分に残されている。恒常的に風が強く、しばし最大風速も30m/sを超えることが記録され、後継樹は生育できず、その大部分は未立木地になっている。</p> <p>稚内裏山全体の未立木地の解消、失った森林の再生を図るため風衝地での森林整備も不可欠なことから、植栽工及び植栽木の生育の保護を図るため防風工を一体的に行うものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な事業内容 下刈 7.42ha</li> <li>・主な保全対象</li> <li>・総事業費 1,729千円</li> </ul>		
費用対効果分析	総便益(B)	13,824千円	
	総費用(C)	1,548千円	
	分析結果(B/C)	8.93	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性 過去に発生したと山火事により、森林は荒廃し、笹生地化していることから、下流への良質な水資源の確保、水土保持機能・向上のためにも、本事業は必要である。</li> <li>・有効性 当事業の実施により、未立木地化している森林の再生が図られ保安林機能の維持・向上が期待出来るため、有効性は認められる。</li> <li>・効率性 当事業の計画に当たっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な工法で検討されており、費用以上の効果も期待出来ることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業計画期間	平成26年度～平成30年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	上声問・曲淵地区 （かみこえとい・まがりぶちちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 宗谷森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は日本最北端の稚内市の内陸部位置しており、曲淵地区は古くは炭鉱の町として栄え、現在は酪農が盛んな地域である。</p> <p>当地区は北西からの強い季節風の影響をうけ未立木地となっており、保安林としての機能を十分に発揮できない状況にある。現状のまま放置をすれば、下流に影響を及ぼす恐れがあることから、早期に林地造成を図り、水源涵養機能を発揮させるものである。</p> <p>・主な事業内容 下刈 8.20h  ・主な保全対象  ・総事業費 7,837千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	15,140千円	
	総費用（C）	6,970千円	
	分析結果（B/C）	2.17	
評価結果	<p>・必要性 現状を放置すれば、保安林機能の低下を招く恐れがあることから、当該事業を実施する必要性が認められる。</p> <p>・有効性 当該事業の実施により、造林木の健全な成長を促し、保安林機能の維持・向上が図られることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>・効率性 当該事業の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的、かつ効率的な作業種が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業計画期間	平成26年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	礼文地区 （れぶんちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 宗谷森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は日本最北端稚内市の西側約50kmに位置する、利尻・礼文・サロベツ国立公園の中核である礼文島である。四方を海に囲まれているため、山頂部は強い風の影響を受け未立木地、疎林となっており、保安林としての機能を十分に発揮できない恐れがある。保安林の機能強化を図る観点から、早期林地造成が必要であり、植栽木の生育を図るため森林整備を行うものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な事業内容 植栽工0.69ha 下刈り55.58ha 防風工 651.6m</li> <li>・ 主な保全対象</li> <li>・ 総事業費 15,910千円</li> </ul>		
費用対効果分析	総便益（B）	114,562千円	
	総費用（C）	15,187千円	
	分析結果（B/C）	7.54	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性 過去に発生したと山火事により、森林は荒廃し、笹生地化していることから、下流への良質な水資源の確保、水土保持機能・向上のためにも、本事業は必要である。</li> <li>・ 有効性 当事業の実施により、未立木地化している森林の再生が図られ保安林機能の維持・向上が期待出来るため、有効性は認められる。</li> <li>・ 効率性 当事業の計画に当たっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な工法で検討されており、費用以上の効果も期待出来ることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業計画期間	平成26年度～平成30年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	小石地区 （こいしちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 宗谷森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、猿払村より西に10kmに位置し、猿払村の生活用水等の水源として、水源涵養保安林、干害防備保安林指定されている。</p> <p>当地区は、笹覆地であり、笹に被圧され植栽木の生育が阻害され、保安林としての機能を十分に発揮できない状況にある。今後現状のまま放置をすれば、周辺地域に影響を及ぼす恐れがあるため、早期に森林造成を図り、保安林機能を発揮させる。</p> <p>・主な事業内容 下刈48.04ha          ・主な保全対象          ・総事業費 12,120千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	81,071千円	
	総費用（C）	10,788千円	
	分析結果（B/C）	7.51	
評価結果	<p>・必要性 現状を放置すれば、保安林機能の低下を招く恐れがあることから、当該事業を実施する必要性が認められる。</p> <p>・有効性 当事業の実施により、森林への早期回復を図り、保安林の機能維持・向上が期待出来るため、有効性は認められる。</p> <p>・効率性 当事業の計画に当たっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な工法で検討されており、費用以上の効果も期待出来ることから効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業計画期間	平成26年度～平成30年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	シュウマル地区 （しゅうまるちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 宗谷森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、中頓別町より南西約10kmに位置し、土砂流出防備保安林に指定されている。</p> <p>当地区山頂付近は更新困難地となっており、生育木の成長が阻害されると表土等流出の恐れがあり、周辺地域に影響を及ぼすことが懸念されるため、早期に森林造成を図り、保安林機能を発揮させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な事業内容 下刈 1.14ha</li> <li>・ 主な保全対象</li> <li>・ 総事業費 179千円</li> </ul>		
費用対効果分析	総便益（B）	2,088千円	
	総費用（C）	160千円	
	分析結果（B/C）	13.05	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性 現状を放置すれば、保安林機能の低下を招くことから、当該事業を実施する必要性が認められる。</li> <li>・ 有効性 当事業の実施により、林地への早期回復を図り、保安林の機能維持・向上が期待出来るため、有効性は認められる。</li> <li>・ 効率性 当事業の計画に当たっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な工法で検討されており、費用以上の効果も期待出来ることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備(国有林)	事業計画期間	平成26年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	山臼地区 (やまうすちく) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 宗谷森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は枝幸町から、およそ15km南等東に位置し、海岸線まで近く、防風保安林に指定されている。</p> <p>当地区は、海側に国道238号線が走り背後には牧草地が広がっている。現在ではトドマツ・アカエゾマツを主体に木本緑化され、住民の生活環境の改善や漁業・酪農業の発展に大きく貢献している。</p> <p>造成された地区の植栽木は、既に40年以上経過し順調に生育されているが、風害から植栽木を守るため密植したため保安林機能を十分に発揮できない状況にあり、早期に林内照度を上げ、下層植生の健全な生育を発揮させるため、本数調整伐を行うものである。</p> <p>・主な事業内容 下刈15.60ha、本数調整伐 5.83ha          ・主な保全対象          ・総事業費 1,394千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	21,856千円	
	総費用(C)	1,340千円	
	分析結果(B/C)	16.31	
評価結果	<p>・必要性 放置が続けば、更に林層が過密状態となり植栽木や下層植生に多大な影響を及ぼし、保安林機能が低下する恐れがあることから、早期に事業着手する必要がある。</p> <p>・有効性 当事業の実施により、林内照度が上がり、下層植生等の生育が回復し、林地の安定が図られ保安林機能の維持・向上が期待出来るため、有効性は認められる。</p> <p>・効率性 当事業の計画に当たっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待出来ることから効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業計画期間	平成26年度～平成30年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	問牧地区 （もんまきちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 宗谷森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は枝幸町市街地から2km北に位置しており、海岸線に国道238号が走り、北側に北オホーツク道立自然公園があり、土砂流出崩壊防備保安林に指定されている。</p> <p>当地区は北東からの強い風の影響を受け、現状のまま放置すると植栽木の生育を阻害し、保安林としての機能を十分に発揮できない状況にある。</p> <p>今後、現状のまま放置をすれば、周辺地域に影響を及ぼす恐れがあるため、早期に林地造成を図り、保安林機能を発揮させる。</p> <p>・主な事業内容 下刈 25.68ha          ・主な保全対象          ・総事業費 6,620千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	36,839千円	
	総費用（C）	5,892千円	
	分析結果（B/C）	6.25	
評価結果	<p>・必要性 最北沿岸地域ということで、風の影響が強く、放置が続けば、保安林の機能を発揮できず、周辺地域への風害等が予想されることから、整備する必要がある。</p> <p>・有効性 当事業の実施により、林地への早期回復を図り、保安林の機能維持向上が期待出来るため、有効性は認められる。</p> <p>・効率性 当事業の計画に当たっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な工法で検討されており、費用以上の効果も期待出来ることから効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業計画期間	平成26年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	音標地区 （おとしべちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 宗谷森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、歌登町より南東約20kmに位置し、水源涵養保安林安林に指定されている。</p> <p>当地区は、笹覆地であり、笹に被圧され植栽木の生育が阻害され、保安林としての機能を十分に発揮できない状況にある。</p> <p>今後、現状のまま放置をすれば、周辺地域に影響を及ぼす恐れがあるため、早期に林地造成を図り、保安林機能を発揮させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な事業内容 下刈12.72ha</li> <li>・ 主な保全対象</li> <li>・ 総事業費 702千円</li> </ul>		
費用対効果分析	総便益（B）	13,539千円	
	総費用（C）	675千円	
	分析結果（B/C）	20.06	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性 現状を放置すれば、保安林機能の低下を招くことから、当該事業を実施する必要性が認められる。</li> <li>・ 有効性 当事業の実施により、林地への早期回復を図り、保安林の機能維持向上が期待出来るため、有効性は認められる。</li> <li>・ 効率性 当事業の計画に当たっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な工法で検討されており、費用以上の効果も期待出来ることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備(国有林)	事業計画期間	平成26年度～平成30年(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	旭山・茅刈別・石狩川源流地区 (あさひやま・ちかりべつ・いしか りかわげんりゅうちく) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 上川中部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該地区は愛別町の東部及び上川町の東部に位置しており、当地区は山間奥地にあり、強風等の影響で立木の生育が妨げられて、また、ササ等の植生に被圧されている状況である。現状のまま放置をすれば、保安林機能への影響が懸念されることから、植栽木の健全な生育を効果的に発揮させるため下刈等を行うものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な事業内容 下刈72.86ha</li> <li>・ 主な保全対象</li> <li>・ 総事業費 25,000千円</li> </ul>		
費用対効果分析	総便益(B)	128,464千円	
	総費用(C)	22,260千円	
	分析結果(B/C)	5.77	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性 植栽木の健全な生育が阻害されることで水源かん養等の保安林機能が低下する恐れがあることから、早期に事業着手する必要がある。</li> <li>・ 有効性 当事業の実施により、植栽木の健全な生育が図られ保安林機能の維持・向上が期待できるため、有効性は認められる。</li> <li>・ 効率性 当事業の計画に当たっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備(国有林)	事業計画期間	平成26年度～平成30年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	占冠地区 (しむかっぶちく) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 上川南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は占冠村に位置しており、一級河川鶴川源流部の奥地山岳地帯で標高も高いことから、過酷な気象状況等により未立木地が残されている。また、過去に植栽された箇所においては、過密で成長が阻害されている状況も見られ、保安林としての機能低下の恐れもある。</p> <p>本事業は保育作業を継続し、未立木地への植栽、密生地の本数調整等により立木の成長を促し、保安林機能を向上させる。</p> <p>・主な事業内容 植栽工 20.72ha 本数調整伐 44.79ha 下刈64.43ha          ・主な保全対象          ・総事業費 75,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	263,242千円	
	総費用(C)	70,646千円	
	分析結果(B/C)	3.73	
評価結果	<p>・必要性 未立木地の放置が続けば、水源涵養保安林の機能低下及び降雨時等には土砂流出の被害等が予想されることから、早期に事業着手する必要がある。</p> <p>・有効性 当事業の実施により、林地への早期回復を図り、保安林の機能維持・向上が期待出来るため、有効性は認められる。</p> <p>・効率性 当事業の計画に当たっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な工法で検討されており、費用以上の効果も期待出来ることから効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業計画期間	平成26年度～30年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	白滝地区 （しらかちく） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 網走西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は遠軽町の東部、オホーツク海に注ぐ湧別川の上流域に位置し、水源かん養保安林に指定されている箇所である。 当該箇所は気象害の影響で未立木地となっていることから早期に林地回復を図り、保安林機能を発揮させるため計画したものである。</p> <p>・主な事業内容 植栽工 3.40ha、下刈3.40ha ・主な保全対象 ・総事業費 4,750千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	10,415千円	
	総費用（C）	4,507千円	
	分析結果（B/C）	2.31	
評価結果	<p>・必要性 未立木地の放置が続けば、保安林機能の低下により周辺地域への表土流出等の被害が予想されることから、当事業を実施する必要性が認められる。</p> <p>・有効性 当事業の実施により、林地への早期回復を図り、保安林の機能維持・向上が期待出来るため、有効性は認められる。</p> <p>・効率性 当事業の計画に当たっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な工法で検討されており、費用以上の効果も期待出来ることから効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備(国有林)	事業計画期間	平成26年度～平成29年度(4年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	湧別川 (ゆうべつがわ) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 網走西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は紋別地方南部である遠軽町に位置し、水源かん養保安林に指定されている。植付を実施したところであり、水源かん養等の保安林機能向上のため、林地への早期回復を図り、保安林機能を発揮させるために計画したものである。</p> <p>・主な事業内容 下刈 116.00ha          ・主な保全対象          ・総事業費 18,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	192,342千円	
	総費用(C)	16,336千円	
	分析結果(B/C)	11.77	
評価結果	<p>・必要性 放置が続けば、水源かん養等の保安林機能が低下することから、早期に事業着手する必要がある。</p> <p>・有効性 当事業の実施により、林地への早期回復を図り保安林機能の維持・向上が期待出来るため、有効性は認められる。</p> <p>・効率性 当事業の計画に当たっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果も期待出来ることから効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備(国有林)	事業計画期間	平成26年度～平成30年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	渚滑川 (しよこつがわ) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 網走西部森林管理署西紋別支署
事業の概要・目的	<p>当地区は滝上町市街地より南西部に位置している。植栽樹種は生育しているものの周辺草本類の成長が著しいため、被圧され生育が阻害されている状況である。その状況を放置すると植栽木が枯れるなどの被害が懸念されることから、草本類を下刈し、植栽木を健全に生育させ保安林機能を効果的に発揮させ水源かん養能力向上を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 下刈132.95ha、          ・主な保全対象          ・総事業費 8,030千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	142,931千円	
	総費用(C)	7,150千円	
	分析結果(B/C)	19.99	
評価結果	<p>・必要性 当該植栽木の生育促進を図り、水源かん養機能を向上させるために事業着手する必要がある。</p> <p>・有効性 当事業の実施により、植栽木の生育促進が図られ保安林機能の維持・向上が期待できるため有効性は認められる。</p> <p>・効率性 当事業の実施にあたっては、現地実態に応じた効果的かつ効率的な施業で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備(国有林)	事業計画期間	平成26年度～平成30年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	北見地区 (きたみちく) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 網走中部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、水源かん養を目的とした保安林に指定され、現地は、クマイ笹等に覆われていることから、今後下刈等保育事業を継続的に行わないと、植栽木の健全な成長を阻害されることから、保安林機能の維持増進を効果的に発揮させるために行うものである。</p> <p>・主な事業内容 下刈16.00ha          ・主な保全対象          ・総事業費 5,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	24,109千円	
	総費用(C)	4,458千円	
	分析結果(B/C)	5.41	
評価結果	<p>・必要性 水源かん養機能の発揮等が求められている地域であり、放置が続けば保安林機能低下することから、早期に事業に着手する必要性が認められる。</p> <p>・有効性 当事業の実施により、林内の安定が図られ保安林機能の維持・向上が待でき、森林の有する機能を十分図られることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>・効率性 当事業の計画に当たっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な工法で検討されており、費用以上の効果も期待出来ることから効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備(国有林)	事業計画期間	平成26年度～平成28年度(3年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	阿寒・弟子屈・浜中地区 (あかん・てしかが・はまなかちく) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 根釧西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該地は根釧西部森林管理署管内に位置し、寒風害等の気象害により被害を受け、未立木地が拡がり、天然更新では森林への復元が期待できないことから、植栽工を実施し、早期森林への復元による保安林機能の回復を図ったところである。</p> <p>今後も植栽木の健全な生長を促し、保安林機能の増進を図るため当該事業を計画した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な事業内容 下刈、 194.29ha</li> <li>・主な保全対象</li> <li>・総事業費 20,000千円</li> </ul>		
費用対効果分析	総便益(B)	384,147千円	
	総費用(C)	18,592千円	
	分析結果(B/C)	20.66	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性 このまま放置すれば、笹等の繁茂により植栽木の生長が阻害され、枯死等の被害が発生する恐れがあることから、早期森林造成の観点からみて、当該事業を実施する必要性が認められる。</li> <li>・有効性 当該事業の実施により植栽木の生長が増進し、早期に保安林機能の回復、発揮が図られることから、事業の有効性が認められる。</li> <li>・効率性 当事業の計画に当たっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な工法で検討されており、費用以上の効果も期待出来ることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業計画期間	平成26年度～平成30年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	西春別 （にししゅんべつ） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 根釧東部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、中標津町西部に位置し、水源かん養保安林に指定されている。植付けを実施した箇所であり、水源かん養等の保安林機能向上のため、林地への早期回復を図り、保安林機能を発揮させるために計画したものである。</p> <p>・主な事業内容 下刈 192.87ha          ・主な保全対象          ・総事業費 70,443千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	377,945千円	
	総費用（C）	64,458千円	
	分析結果（B/C）	5.86	
評価結果	<p>・必要性 放置が続けば、水源かん養等の保安林機能低下を招く恐れがあることから、早期に事業着手する必要がある。</p> <p>・有効性 当事業の実施により、林地への早期回復を図り、水源かん養保安林の機能維持・向上が期待出来るため、有効性は認められる。</p> <p>・効率性 当事業の計画に当たっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な工法で検討されており、費用以上の効果も期待出来ることから効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業計画期間	平成26年度～平成30年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	別海 （べつかい） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 根釧東部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、別海町北部に位置し、防風保安林に指定されている。昨年度植付けを実施した箇所であり、防風等の保安林機能向上による農地保全のため、林地への早期回復を図り、保安林機能を発揮させるために計画したものである。</p> <p>・主な事業内容 下刈 89.16ha          ・主な保全対象          ・総事業費 26,250千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	116,172千円	
	総費用（C）	23,782千円	
	分析結果（B/C）	4.88	
評価結果	<p>・必要性 放置が続けば、防風等の保安林機能低下を招くことから、早期に事業着手する必要がある。</p> <p>・有効性 当事業の実施により、林地への早期回復を図り、防風保安林の機能向上が期待出来るため、有効性は認められる。</p> <p>・効率性 当事業の計画に当たっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な作業種で検討されており、費用以上の効果が期待出来ることから効率性は認められるものである。</p>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備(国有林)	事業計画期間	平成26年度～28年度(3年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	足寄地区 (あしよろちく) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 十勝東部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は足寄町に位置し、水源かん養保安林に指定されているが、気象害により保安林機能が低下した箇所である。 当事業は、低下した保安林機能の回復を図るため植栽工後の保育(下刈)を計画したものである。</p> <p>・主な事業内容 下刈67.51ha ・主な保全対象 ・総事業費 4,269千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	88,076千円	
	総費用(C)	4,040千円	
	分析結果(B/C)	21,80	
評価結果	<p>・必要性 未立木地の解消が困難な事から、下流の良好な水資源の確保等のためにも本事業の必要性が認められる。</p> <p>・有効性 当事業の実施により、気象害で低下した水源かん養機能を回復する事が見込まれるため、有効性は認められる。</p> <p>・効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備(国有林)	事業計画期間	平成26年度～30年度年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	陸別地区その1 (りくべつちくその1) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 十勝東部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は陸別町に位置し、水源かん養保安林に指定されているが、気象害により保安林機能が低下した箇所である。 当事業は、低下した保安林機能の回復を図るため植栽工・下刈を計画したものである。</p> <p>・主な事業内容 植栽工 8.71ha、下刈197.93ha ・主な保全対象 ・総事業費 32,843千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	347,329千円	
	総費用(C)	29,646千円	
	分析結果(B/C)	11.72	
評価結果	<p>・必要性 未立木地の解消が困難な事から、下流の良好な水資源の確保等のためにも本事業の必要性が認められる。</p> <p>・有効性 当事業の実施により、気象害で低下した水源かん養機能を回復する事が見込まれるため、有効性は認められる。</p> <p>・効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備(国有林)	事業計画期間	平成26年度～平成29年度(4年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	日勝峠 (にっしょうとうげ) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 十勝西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は日勝峠の清水町側標高800m付近に位置しており、寒風害等の気象害により、未立木地が拡がり、天然更新では森林への復元が期待できないことから、植栽工を実施し、早期森林への復元により、保安林機能を高めるため計画した。</p> <p>・ 主な事業内容 植栽工38.91ha、下刈38.91ha、防風工          ・ 主な保全対象          ・ 総事業費 100,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	105,817千円	
	総費用(C)	89,741千円	
	分析結果(B/C)	1.18	
評価結果	<p>・ 必要性 未立木地状態での放置が続けば、保安林の機能低下が予想されることから、早期に事業着する必要がある。</p> <p>・ 有効性 当事業の実施により林地への早期回復を図り、保安林の機能維持・向上が期待できるので、有効性は認められる。</p> <p>・ 効率性 当事業の計画に当たっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な工法で検討されており、費用以上の効果も期待出来ることから効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備(国有林)	事業計画期間	平成26年度～30年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	室蘭 (むろらん) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 後志森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は渡島半島北部に位置しており、林内では侵入木や蔓茎類により造林木が被圧された林分や造林木等の過密化による成長不良と下層植生の消滅等、その生育が著しく阻害されており、現状を放置することは造林木の枯死、表土の流出等保安林機能の低下につながることから、保安林機能の適切な維持管理を目的として当該事業を計画するものである。</p> <p>・主な事業内容 下刈 142.90ha・刈り出し9.05ha・つる切71.20ha 本数調整伐 110.25ha</p> <p>・主な保全対象</p> <p>・総事業費 40,950千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	835,358千円	
	総費用(C)	35,816千円	
	分析結果(B/C)	23.32	
評価結果	<p>・必要性 放置が続けば、更に林層が過密状態となり、下層植生に多大な影響を土砂の流出等保安林機能が低下することから、早期に事業着手する必要がある。</p> <p>・有効性 当事業の実施により、林内照度が上がり、下層植生等の生育が回復し、林内の安定が図られ保安林機能の維持・向上が期待出来るため、有効性は認められる。</p> <p>・効率性 当事業の計画に当たっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な工法で検討されており、費用以上の効果も期待出来ることから効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備(国有林)	事業計画期間	平成26年度～30年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	倶知安 (くっちゃん) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 後志森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は渡島半島北部に位置しており、林内では侵入木や蔓茎類により造林木が被圧された林分や造林木等の過密化による成長不良と下層植生の消滅等、その生育が著しく阻害されており、現状を放置することは造林木の枯死、表土の流出等保安林機能の低下につながることから、保安林機能の適切な維持管理を目的として当該事業を計画するものである。</p> <p>・主な事業内容 下刈 15.65ha・刈り出し2.60ha・つる切99.45ha 除伐 249.05ha・本数調整伐 127.40ha</p> <p>・主な保全対象</p> <p>・総事業費 42,771千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	716,953千円	
	総費用(C)	37,567千円	
	分析結果(B/C)	19.08	
評価結果	<p>・必要性 放置が続けば、更に林層が過密状態となり、下層植生に多大な影響を土砂の流出等保安林機能が低下することから、早期に事業着手する必要がある。</p> <p>・有効性 当事業の実施により、林内照度が上がり、下層植生等の生育が回復し、林内の安定が図られ保安林機能の維持・向上が期待出来るため、有効性は認められる。</p> <p>・効率性 当事業の計画に当たっては、現地実態に応じた最も効果的かつ効率的な工法で検討されており、費用以上の効果も期待出来ることから効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備(国有林)	事業計画期間	平成26年度から平成31年度(6年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	茂雪裡 (もせつり) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 根釧西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該地区は鶴居村北西部に位置し、雄阿寒岳山麓からの強風が通年で吹き下ろす風衝地であり、また多雪、低温等の影響を受け、天然林及び人工林の生長が阻害され、一部においては保安林機能が低下する恐れがある。</p> <p>当該地区を源流とした茂雪裡川支流は、鶴居村の飲料水及び主産業である農業用水として利用されており、また下流に位置する民有地は茂雪裡地区水資源保全地域指定されている。当事業を実施し、早期に森林へ復旧を図り、水源かん養等の保安機能を高度に発揮させるため行うものである。</p> <p>・主な事業内容 植栽工 144.52ha、下刈 578.08ha、防風工 110,000m          ・主な保全対象          ・総事業費 436,550千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	432,619千円	
	総費用(C)	381,080千円	
	分析結果(B/C)	1.14	
評価結果	<p>・必要性 放置が続けば疎林化が進み、保安林機能の低下する恐れがあることから、水源かん養、山地保全の観点からみて、当該事業を実施する必要性が認められる。</p> <p>・有効性 当該事業の実施により、森林の持つ多面的機能が早期に発現し、保安林機能の向上が期待できることから事業の有効性が認められる。</p> <p>・効率性 対策の計画にあたっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工法等が検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。</p>		